

案件概要書

2024年10月29日

1. 基本情報

- (1) 国名：キルギス共和国（以下、「キルギス」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：オシュ州オシュ市（36万人）
- (3) 案件名：オシュ市内二次救急医療病院における医療機材整備計画
（The Project for the Improvement of Medical Equipment at Secondary Emergency Care Hospitals in Osh City）
- (4) 計画の要約：
本計画は、オシュ市内の二次救急医療病院において、循環器疾患及び癌の診断・治療のための医療機材（CT撮影装置、MRI等）を整備することにより、非感染性疾患に対する診断・治療体制の強化を図り、もってキルギスにおける保健・医療サービスの質の向上を通じた社会サービスの向上に寄与するもの。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

日本は、1991年のキルギスの独立以来の長きに亘り、人材育成を始めとする国造りに貢献してきており、極めて良好な関係を築いている。キルギスが、その地理的環境から、歴史的なロシアとの関係や2023年5月の「中国・中央アジア」首脳会議にて貿易面を含む経済関係の強化が進める中国との関係等、外交的バランスの確保に努める中であって、これまでの友好関係を維持・発展させていくためには、公共サービスが行き届きにくいキルギス国民生活に直結する保健・医療分野での協力こそが関係強化に大きな効果を発揮しうる。

また、我が国は、2023年5月のG7広島サミットやG7長崎保健大臣会合等においてユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の達成を含む国際保健に貢献していくことを表明し、本事業でこうした決意表明を具体的にフォローすることが重要である。

- (2) 当該国における保健セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

キルギスは1991年の独立以降、旧ソ連の崩壊に伴う医療サービス体制の解体と政治の混乱や経済不況により保健医療サービスの質・量が低下したものの、我が国の母子保健分野への協力やキルギス政府の保健セクター改革による感染症対策の実施により、5歳未満児死亡率の削減、ポリオやマラリアの撲滅といった成果を上げてきた。

他方、キルギスでは非感染性疾患（Non-communicable diseases）（以下、「NCDs」という。）の全死因に占める割合が若年層も含め約8割（世界保健機関（以下「WHO」という。）、2021年）と、世界的平均（約7割）よりも高い。特に死因に占める循環器疾患の割合は51.6%と高く（キルギス統計委員会、2021年）、癌の割合も2010年の8.8%から2019年には12.2%（WHO）に増加している。

こうした課題に対処すべく、同国政府は「国家公衆衛生保護・保健システム発展プログラム（2019-2030年）」において、NCDs対策を保健政策の重点分野に位置づけ、特に2030年までにNCDsによる若年死亡率を3分の1に減少させることを目標として掲げている。各医療施設が役割に応じた機能を有し、適切な医療施設間のリファラル（搬送）体制が整備されることがNCDsの死亡率低減に資するため、同プログラムでは「病院システムの改善・合理化」を政策の柱の一つとして掲げており、保健省は、地域の中核となるビシュケク市とオシュ市の病院をそれぞれ北部、南部のトップリファラル病院に定め、三層から成る医療施設間のリファラル体制の整備を進めている。また、同プログラムに基づき、世界銀行の支援により2020年に策定されたマスタープラン「Healthcare Delivery Optimization Plan for the Kyrgyz Republic」では、両市の病院を中心に、病院システムの適正化の実現に向けた医療機材の整備計画が策定されている。

我が国は、同マスタープランに基づき、チュイ州及びビシュケク市を対象とする技術協力「非感染性疾患の早期発見・早期治療のためのパイロットリファラル体制強化プロジェクト」（2022年～2026年、リファラル体制の強化と主に一次医療施設への機材整備）、無償資金協力「ビシュケク市及びチュイ州における医療機材整備計画」（2023年2月G/A署名、主に二次医療施設の医療機材整備）、無償資金協力「ビシュケク市内三次病院における医療機材整備計画」（2024年8月G/A署名、全国規模の受入れを行う三次病院を対象）を通じて、NCDsの診断・治療体制及びリファラル体制の強化を支援してきた。

他方、キルギスにおけるリファラル体制の更なる強化のためには、人口が集中するフェルガナ盆地に位置するオシュ州、ジャララバード州、バトケン州から患者を受け入れ、首都ビシュケク市と並ぶ拠点であるオシュ市内に所在する同国南部のトップリファラル病院のNCDsに係る診断・治療に必要な医療機材の整備が不可欠である。キルギス国内全体の循環器疾患の約5割（全国17,188人のうち8,594人）、癌の約4割（全国4,138人のうち1,718人）、高血圧症の約7割（全国1,222人のうち920人）の死亡者がこれらの州から生じている（「キルギス共和国の公衆衛生と保健機関の活動」、2022）ことを踏まえ、キルギス政府は同国の医療体制を構築するために、キルギス南部3州をカバーする南部の医療施設の中核としてオシュ市の医療施設を強化する方針を表明している。

しかしながら、オシュ市に位置するオシュ州統合病院及びオシュ州統合腫瘍センターでは、専門医の資格を有し、海外での研修等を受け高い技術を有する医療従事者がいる一方で、医療機材が不足・老朽化しており、南部地域におけるNCDs重症患者に対する適時・適切な医療サービス提供が困難な状況にある。

オシュ市内二次病院医療機材整備計画（以下、「本計画」という。）は、上記を踏まえ、キルギス南部地域で医療サービス提供の拠点となるオシュ市内にある州統合病院やオシュ地域統合腫瘍センター等の南部におけるトップリファラル病院において、循環器疾患及び癌の診断・治療に必要な医療機材を整備するものであり、同国政府が目指す保健医療体制改善に不可欠な優先度の高い計画として位置づけられる。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容：

- ア) 施設、機材等の内容：アンギオグラフィ装置、CT 撮影装置、MRI、心臓診断用超音波診断装置、手術用顕微鏡、C アーム、脳神経外科用内視鏡、腹腔鏡、気管支内視鏡、マンモグラフィ等（詳細は協力準備調査により確認する。）
- イ) コンサルティング・サービス／ソフトコンポーネントの内容：詳細設計、入札補助、調達監理、機材の運営・維持管理に係る研修

② 期待される開発効果：

- ・ NDCs 診断・処置件数（件）の増加（アンギオグラフィ診断：622→1244、CT 診断：534→1068、マンモグラフィ診断：520→780、脳神経外科手術：732→1464）により、対象地域住民約 377 万人の医療アクセス向上への貢献が期待される。
- ・ 南部地域からビシュケク市リファラル病院への要紹介数（件）の減少（100→50）により、キルギス国内の医療逼迫の軽減が期待される。

③ 計画実施機関／実施体制：保健省（Ministry of Health）

④ 他機関との連携・役割分担：

キルギス全国を対象とした医療施設整備マスタープラン（2019～2022 年、世界銀行の支援により作成）にて分析された各州の医療機材のニーズに基づき、支援内容を検討する。また、中国がオシュ市内臨床病院の CT やポータブル X 線装置等の医療機材を整備予定であり、当該病院から本計画の対象病院へのリファラル体制の強化を図る。

⑤ 運営／維持管理体制：

本計画で整備する機材の維持管理は、保健省及び対象病院が行う。故障時には保健省の特別予算を申請して修理するほか、維持管理に各病院の診察料収入（有料診療分）を財源とする特別基金を使用可能である。また、日常的な機材の管理は各病院の機械技師が行うが、候補病院の技術レベルに適合した機材を整備する。

(2) その他特記事項：

● 環境社会配慮カテゴリ分類：C

● ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）

● その他：

DX 技術の導入に関し、保健省傘下の e-health center により PACS（Picture Archiving and Communication Systems）が導入されるため、本計画で整備される画像診断関連機器については診断画像のデータが共有可能な仕様とする。

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

過去のタジキスタン共和国向け無償資金協力「母子保健施設医療機材・給排水設備改善計画」（評価年度：2020 年）の事後評価等では、医療機材の維持管理体制における課題（日常的メンテナンス、維持管理費用の予算化等）が指摘されており、

全国的な維持管理及び保守サービスシステムの改善や、機材の持続的な活用のため
の対象病院への十分な予算配分等の教訓を得ている。

さらに、南アフリカ共和国向け技術協力「南部アフリカ医療機器保守管理能力向
上プロジェクト」(評価年度:2015年)の事後評価等では、現地代理店や医療機器メ
ーカーの人材を活用した指導や管理体制の構築は有効であるという教訓を得ている。
本計画では、対象となる病院において整備する医療機材の維持管理体制、必要な予
算配分を確認する。また機材の修理や部品交換等に際し、現地代理店の状況を確認
のうえ、本計画で整備する高度な医療機材には保守契約を付帯し、日常的な維持管
理は、保健省及び対象病院が現地代理店や医療機器メーカー等の支援のもとに行う。

以 上

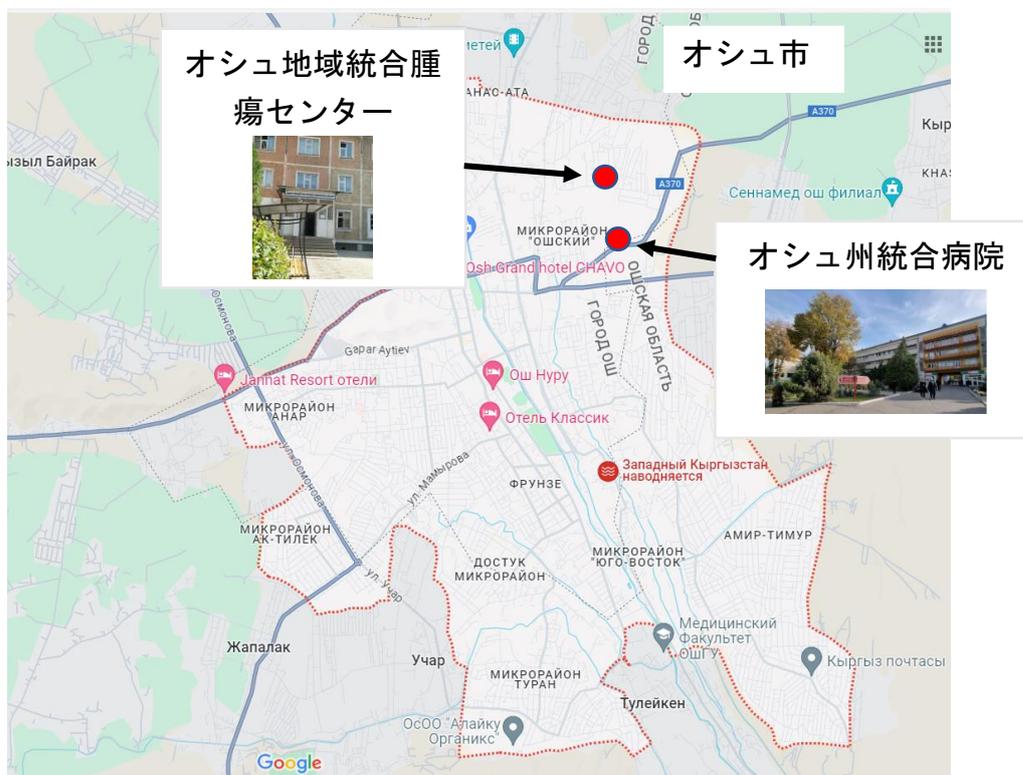
[別添資料] 地図 「オシュ市内二次救急医療病院における医療機材整備計画」

地図 「オシュ市内二次救急医療病院における医療機材整備計画」



出典 : [Kyrgyzstan Maps & Facts - World Atlas](#) Regions of Kyrgyzstan Map より JICA 作成

(オシュ市内)



出典 : Google Maps (地図データ©2023 Google) より JICA 作成